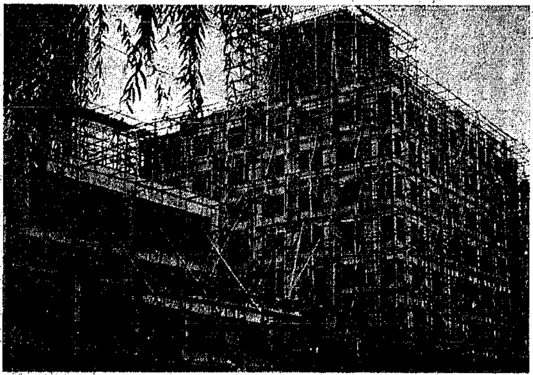
発行所　新潟市役所
新潟市西堀通六番町866ノ3
電話代表(3)2111番
新潟市長
発行人　村田三郎
新潟市湊町通二ノ丁2609
編集人　松井米雄
新潟市浜浦町一丁目105
印刷所　文明堂印刷所
新潟市西堀前通4
電話(2)8128番
毎月一回5日発行
定価　一部3円



……完成間近い市庁舎……

完成近い新市庁舎

各階の配置など決まる

―完成は一月末の予定―

一昨年の新潟大火によって類焼いたしました市庁舎の復興については、関係者の努力によって着々進められていましたが、躍進大新潟市にふさわしい近代的な新市庁舎として、全市民各位の御支援と大きな期待のうちに近く完成しようとしています。その完成を目前にして県都にふさわしい庁舎の概要を皆さんにお知らせいたします。

◇概要

既に御承知のとおり庁舎の構造は地下一階、地上八階（地上約二十九米）、塔屋四階（約十二米）、地上よりの全高が約四十一米の最新式鉄骨鉄筋コンクリート造りで、本館棟、議場棟、及び別館（旧建設部建物三階建）に分れ延坪数三、一三五坪で、これを全部構成敷地におさめています。

敷地は幕府直領当時よりの奉行所跡で由緒あるところ且つ市の中心部に位置し市民に対し最も便利の場所でありますがこの敷地総坪数は一、三五三坪となっています。

◇庁舎の特徴

新庁舎の特徴を申上げますと、狭い敷地を有効に生かす為建物を高層化することを前提として、市のシンボルにふさわしいものを建設する為、設計についても中央の一流設計事務所六社に依頼して競技設計を実施し、この結果佐藤武夫設計事務所が当選し実施設計を行ったものです。その主たる特徴は次のとおりです。

一、新潟ではあまり例のない本格的地下工事を行いましたが、当市の地層は概ね砂地であることと、天然ガスが埋蔵されている為地下工事着手中、米国のシステムであるウエルポイント工法により地下水を吸上げました。

二、雪国の特徴たる雁木に代るべき回廊が常時市民の通行に利用されるよう建設されています。

三、構造体を軽くすることを主眼として、軽量コンクリートの使用、アルミニュームの窓枠及び外壁はパネル取付等設計されています。近年全国的傾向として高層建築物の軽量化は建築界の研究課題とされていますが、新庁舎もこれに副って構造体を軽くするため

(1)三階以上に軽量コンクリート（セメントと砂は普通と同じですが、川砂利の代りに火山帯の軽石を使用）を使用しています。

(2)二階以上の窓枠をアルミニュームとしています。これは普通の鉄窓枠より極めて軽いことのほか、新潟市が海岸線に位置するため大気中に塩分が多く鉄の場合腐蝕の損耗が多いのでこれを排除し、耐用年数を高度にすることが考えられています。

(3)外壁のプレキャストコンクリートは、普通建築体のようなコンクリートの打込みでなく別に鉄筋入りの壁板を作りこれを床と天井にはめ込んで夫々鉄筋を交叉して熔接したものです。

四、建物の内容をコアーシステムとして、階段エレベーター、便所等を建物の中心部に集中し、周辺を総て事務室とすることにより床面積よりして全体の八〇%が事務室として使用できるので極めて効率的になっています。

◇各階の配置

本館棟

地階　倉庫、書庫、ホール、理髪室、売店変電室、発電気室、蓄電池室、ポンプ室、暖房機関室、宿直室、印刷室、使用人休憩室

一階　収入役室、会計課、市金庫、信用金庫、観光その他案内所、受付、守衛室

二階　市長室、第一助役室、特別応接室、第二助役室、助役応接室、会議室、記者室、総務部長室、応接室、人事課、財政課

三階　経済部長室、商工課、農林水産課、厚生部長室、民生課、衛生課、庶務課、選挙管理委員会事務室

四階　税務課、徴税課、会議室、医務休養室、健康保険組合、互助会

五階　建設部長室、建築課、計画課、土木課、下水課、会議室、入札[illegible]

六階　教[illegible]室、教育委員会庶務課、学校教育課、社会教育課、教育研究所、自動交換機室、中継台室、監査委員室、新市政記者室、予備室

七、八階　予備室（当面六階迄で全事務室を収容し、七、八階は予備室とする）

屋上塔屋（四階建）　エレベーター機械室、展望台

議場棟

一階　戸籍課、社会福祉事務所、冷房機室（但し冷房装置は議会議場のみ）

二階　議長、副議長室、応接兼委員会室、議会事務局、全員会議室、委員会室、議員控室、印刷室

三階　議会議場

四階　傍聴席

別館棟

一階　ガレーヂ、度量衡室、運転手控室

二階　国民健康保険課

三階　図書室、火災共済組合事務室、職員組合事務室

10月中の人口動態

出生	353件
死亡	13〃
死産	16〃
婚姻	163〃
離婚	25〃

猛威をふるう流感

罹患者全国で三百万人

かからぬ為の予防が大切

今年の五月上旬から全国的に大流行しましたインフルエンザは、七月下旬になって外観上はした火となりましたが、八月の暑熱期には潜在的に拡大をつづけ九月に入ると再び流行し、死者三十名を出し今迄に見られない悪性化の傾向を帯びてきました。

今回のインフルエンザはAアジア57型ウイルスによる感染であらゆる年令層をおかし特に小中学生間に於ける流行は著しく、十一月十五日現在に於て発生学校数は三、〇六二（休校一、一七三、学年閉鎖二八九、学級閉鎖一、二三六）で、休んでいる学童は三十三万七千人、全国の推定患者は三百万人に達するものと見られ、新潟市に於ても既に各小学校に多発し更に激増するものと思われます。

この予防には確実な方法が見い出されておらず、ワクチンも品不足であり又この方法も絶対確実ではなく、結局予防は従来のような個人衛生の励行が唯一でありますので、次の事項をよく守って予防して下さい。

(1)流行地では人混みの場所（劇場、映画館、百貨店、旅行等）をさけること。

(2)外出帰宅後はウガイをすること。

(3)保温（衣服採暖）、栄養、睡眠等に注意し不摂生な生活をさけること。

(4)風邪を引いている人はマスクをすること。

(5)風邪気味のときは早期に安静を保つこと。（インフルエンザの伝染危険期間は発病第三日までが特に強いので、他への感染防止及び合併症を予防する点からも早期安静が望ましい。）

新年名刺交換会御案内

新しい年を迎えるに当り新潟市の復興を祝い発展を祈念して次のとおり新年名刺交換会を催しますから一般市民の方々の御参加を希望します。

一、主催　新潟市

二、日時　昭和三十三年一月一日　午前十一時

三、会場　市立白山小学校講堂

四、会費　三〇〇円（申込と同時に受付）

五、申込期限　十二月二十五日まで。但し定員五〇〇名を超えるときは受付を辞退させていただくことがあります。

六、申込先　新潟市役所人事課（電(3)二一一一）

年賀状や年末の小包はお早く

今年も年末の忙しい季節が近づきました。新潟郵便局では毎年年末になると年賀郵便物、贈答用小包等が一時にどっと出まわり大変混雑しますので皆さんの年賀状や小包が遅れないようできるだけ早目に出して下さることを希望しています。

なお小包は十二月二十日頃まで、年賀状は十二月二十五日までにお出し下さい。又年賀はがきは市内の各郵便局と切手売捌所で売っております。

12月31日現在で実施される

工業統計調査
中小企業総合基本調査

調査に御協力下さい

◎工業統計調査

この調査はわが国の製造業に関する基本的な統計資料を作成するため、明治四十二年以来の輝やかしい実績をもつ重要な基本調査であります。

この調査の対象は、全国の製造工業を経営する事業所となっており、主として従業者数、原材料の使用額、出荷額、有形固定資産の投資額等について詳細に調べ、製造工業の面からわが国の経済活動の実態を明らかにする最も重要な統計を作るために行われるもので、いわば製造工業についての国勢調査であります。

調査の種類は昨年同様「甲調査、乙調査及び丙調査」の三種類であります。

甲調査は従業者四人以上の事業所

乙調査は従業者三人以下の事業所

丙調査は事業を二以上を経営する企業の本社又は本店を対象とする。

以上の調査のため工業調査員の方々が訪問いたしますが、御多忙中とは存じますが今年も一層の御協力をお願いします。

◎中小企業総合基本調査

通商産業省ではわが国中小企業の実態を明らかにして、有効適切な中小企業対策をたてる基礎資料とし、併せて中小企業の経営にあたっておられる方々の経営の合理化、近代化の指針として役立たせるために今回初めてこの調査を実施することになりました。

この調査は製造業に属する全国約四十万の企業のうちから、約十四万の企業を選定して行われる標本調査でありまして、指定を受けました事業所は統計法に基いて調査事項を正確に報告する義務がありますから、お手数とは存じますが調査趣旨を充分御理解の上、この調査が円滑に実施できるよう皆さんの御協力をお願いします。

なおこの調査は毎年実施される工業調査と同時に行われ、調査項目中関連事項がたくさんありますので、調査票記入にあたっては細心の注意を願うと共に不明の点は調査員及び市役所庶務課統計係におたずね下さい。

靖国神社奉賛会

募金についてお願い

靖国神社は昭和二十年八月終戦を契機として国の所管を離れ、しかも占領下においては英霊を御祭神としてお迎えし、おまつりすることは申すまでもなく、御遺族に対する合祀の通知に至るまで多くの困難の事情がありましたが、幸にして昭和二十七年わが国が独立してからこれらのことは自由になったので、一九八万柱に及ぶ今次大戦の英霊を御祭神としてお迎えするためのお祭りを滞りなく執り行い、通知状を御遺族各位に漏れなく差上げ、心から英霊御祭神にお仕えすると共に、全国より一年中を通じて御参拝の御遺族、崇敬者に対し祭典執行及び接待に関する諸施設を整備し、併せて戦災をこうむり類焼荒廃した神社の境内を復旧し、もって永世に亘り殉国の英霊をおまつりするにふさわしい「国民の神社」としてのもといをここに確立したいと念願するものであります。

由来靖国神社は他といささか異り、その祭神すべてがかつて皆私共の肉身で朋友、知己、郷友、同胞であった方々であり、従って市民各位にとって皆それぞれ深い関係を有する御社柄でもありますがここに同胞こぞっていささかなりとも進んで殉国の英霊をおなぐさめするまごころを捧げたいと思います。

この趣旨によりまして去る七月八日県内の皆様方のお力添をいただき、靖国神社奉賛会新潟県本部を設立し、このたび更に新潟市支部の結成を見るに至りました。

これらの念願を達成するため、十二月十五日から明年一月末日迄の期間、全市一斉に募金を行うことになりましたので、皆さんの深い御理解と絶大なる御協賛をお願い申上げます。

尚募金の目標額使途などは次のとおりになっています。

一、募金目標額

1、全国の目標額　六億七千万円

2、新潟県の目標額　二千五百六十五万円

3、新潟市の目標額　三百五十五万三千九百円

4、一世帯の目標額　百円程度

二、集めた金の使途

1、合祀祭神（おまつり）関係費　二億一千五百三十六万円

この金は約二百万柱に及ぶ英霊の合祀及び御遺族の皆さんに合祀通知状を出したり祭神簿を作るために使われます。

2、参拝遺族接遇関係費　一億七千三百三十六万円

この金は約二百万柱の御遺族が参拝されるときに、記念品や神饌を出すために使われます。

3、社頭整備復興費　二億三千六百九十六万円

この金は参拝される御遺族、崇敬者の皆さんがお休みをいただくところや、戦災で焼けたところや外苑の造営改築をするために使われます。

4、その他　五千五百五十万円

この金は募金をするためにいろいろ経費がかかりますのでその経費に使われます。

三、募金の方法

各町内の委員（自治会長、町内会長）を通じてお願いすることになっています。募金していただきますと、委員から領収証をお渡しします。

そして金額、御住所、芳名は芳名簿を作りあとでお金と共に靖国神社奉賛会に送りながく後世に残すことになっております。

四、その他

この仕事は市役所民生課内の靖国神社奉賛会新潟市支部でとり扱っています。

今月の納税

固定資産税　第3期

納期限　12月31日

上記のとおり固定資産税（都市計画税を含む）第3期の納期でございます。何卒お忘れなく納期間に完納下さるようお願いします。